

お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね？)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。



Check! 01

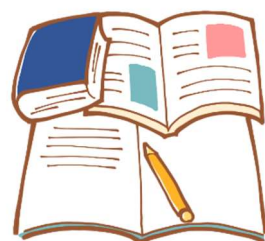
読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ることでも重要です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check! 02

語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

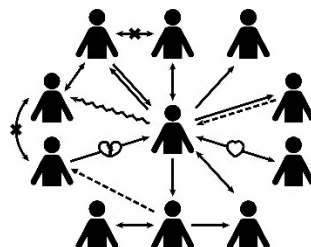
- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。



Check! 03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。



Check! 04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。

お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね？)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。



Check! 01

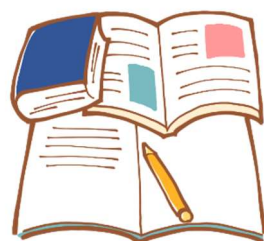
読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ること大事です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check! 02

語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

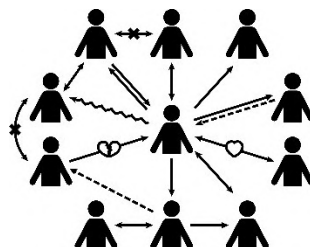
- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。



Check! 03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。



Check! 04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。



お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね?)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。

Check!
01

読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ること大事です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check!
02

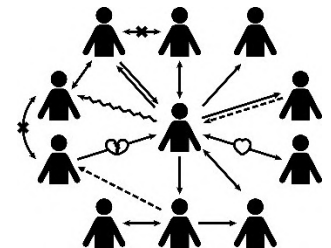
語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。

Check!
03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。

Check!
04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。

お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね?)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。



Check! 01

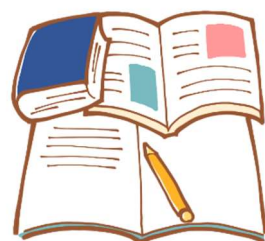
読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ることでも重要です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check! 02

語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

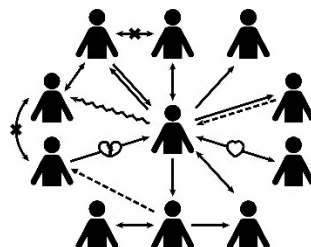
- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。



Check! 03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。



Check! 04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。

お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね？)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。



Check! 01

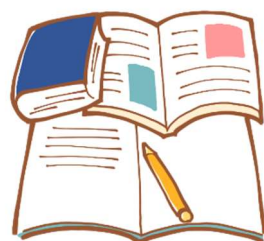
読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ることでも重要です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check! 02

語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

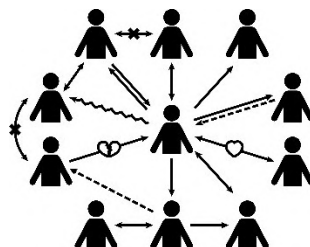
- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。



Check! 03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。



Check! 04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。



お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね?)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。

Check!
01

読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ること大事です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check!
02

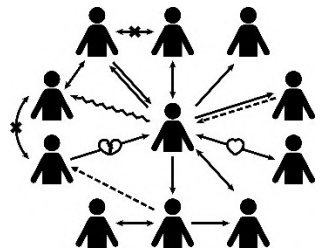
語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。

Check!
03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。

Check!
04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。

お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね？)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。



Check! 01

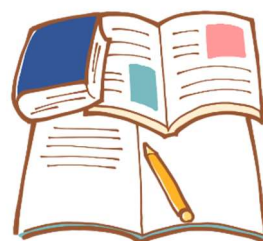
読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ることでも重要です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check! 02

語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

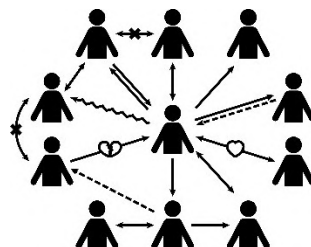
- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。



Check! 03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。



Check! 04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。

お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね？)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。



Check! 01

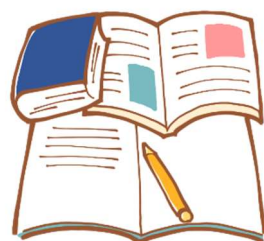
読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ることでも重要です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check! 02

語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

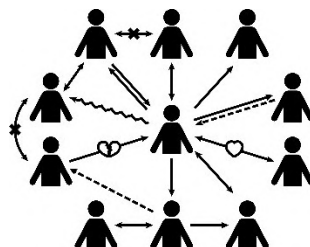
- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。



Check! 03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。



Check! 04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。



お悩み相談室！(3)ずばり国語の勉強ってどうすれば？ の巻

今回は、国語の勉強法についての質問にお答えします。国語は、すべての科目の基本となる読解力や表現力を養う重要な科目です(英語を除き、どの科目の教科書やテストの問題も日本語で書かれていますよね?)。分野ごとの効果的なアドバイスをお伝えします。

Check!
01

読解力・文章理解(説明文・小説文)の解き方・勉強の仕方は？

- ◆**音読を習慣にする** 毎日短時間でも、授業で使った教科書を声に出して読むことをおすすめします。文章全体の構造やリズムがつかみやすくなります。自分には読めない漢字・意味が分からない言葉を知ること大事です。それらを調べていくことで語彙力も増えていきます。特に難しい文章や評論文は、意味を考えながら読むようにしましょう。
- ◆**段落ごとに要点をまとめる** ①説明文・論説文では、段落の最初と最後に注目して、「筆者がここで何を言いたいのか」を一言でまとめる練習をしましょう。②小説文では、登場人物の心情の変化や、その原因となった本文中の記述を正確に見つける練習が大切です。心情をとらえる際、授業で扱った「情景心情一致の法則」などを思い出しながら練習しましょう。
- ◆**指示語・接続詞に注目** 「これ」「それ」などの指示語が何を指しているのか、「しかし」「だから」などの接続詞が文と文をどうつないでいるのか(逆接、順接など)を意識すると、論理の流れが追いやすくなります。

Check!
02

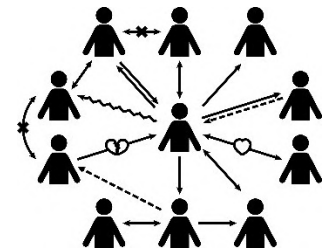
語彙力(ごいりよく:使いこなせることばの力や量)や文法については？

- ◆**漢字は「音・意味・送り仮名」セットで** ①漢字の形だけでなく、読み方(音読み・訓読み)や熟語の意味も一緒に覚えることで、忘れにくくなります。漢字の冊子「ダブルクリア」を何周もこなしましょう。
- ②こまめに辞書(できれば紙の辞書)をひく習慣を身につけましょう。
- ◆**文法は基本から** ことばの単位(大きい順から文章→段落→文→文節→単語)にはじまり、品詞(名詞、動詞など)や文の成分(主語、述語など)といった基本知識を整理し、暗記してから問題演習(スタサプや教科書の下段に載っているQRコードのリンク先)に取り組みましょう。解きっぱなしや正解・不正解に一喜一憂するのではなく、解説をきちんと読んだり聞いたりして理解を深めるのがおすすめです。

Check!
03

古文・漢文はどう勉強するのが効果的でしょうか？

- ◆**まずは音読** 現代文と同様に古文や漢文も、歴史的仮名遣いの現代仮名遣いへの変換や、五七調・七五調などの独特のリズムをとらえて、途中でつかえずにスラスラ読めるまで音読を繰り返しましょう。
- ◆**基本単語とルールを徹底** ①古文は「をかし」「いみじ」などの基本単語の意味を覚えることと、登場人物とその関係を理解し、省略された主語を補って現代語訳を理解する練習がポイントです。
- ②漢文は「返り点(し点、一・二点など)の使い方」を確実にマスターしましょう。

Check!
04

定期テストや模試は、準備も大事だけど、その後こそが大事！

- ◆**問題の「その後」が大事** 文法のところでも述べましたが、問題を解きっぱなしにせず、間違えた問題はなぜ間違えたのかを徹底的に分析し、解説を読んだり『聞いたりして理解し直すことが実力アップにつながります。